

I-1-(3)

取得できる学位及び卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

取得できる学位

健康科学部理学療法学科を卒業した者	学士（理学療法学）
健康科学部整復医療・トレーナー学科を卒業した者	学士（柔道整復学）
健康科学部看護学科を卒業した者	学士（看護学）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

健康科学部

SBC 東京医療大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

- 1.豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。
- 2.他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。
- 3.健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。
- 4.医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。
- 5.質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。
- 6.地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

理学療法学科

- 1.理学療法に必要な保健・医療・福祉の基本的な知識を身につけて、国家試験に合格できる水準に達する。
- 2.基本的な知識及び技能を発揮する能力を備え、安全に理学療法を実践することができる。
- 3.科学的探究心・向学心・批判的思考と研究的態度を身につけ、生涯学習を継続することができる。
- 4.獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、問題を解決することができる。
コミュニケーション能力を身に付け、チームの中で協働することができる。
- 5.感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視することができる。
- 6.社会の多様性への理解を深め、国際的な視野を持つことができる。
- 7.変化していく社会において理学療法士の役割を認識し、自ら研鑽を積むことで地域社会の発展に貢献することができる。

整復医療・トレーナー学科

1. 整復医療・保健体育・スポーツ医科学分野に必要な身体と運動の仕組み及び医学的知識を理解している。
2. 柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。
3. 医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。
4. 高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。
5. 柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。
6. 科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

看護学科

1. 幅広い視野をもち、教養を身につけることができる。
2. 看護専門職に必要な保健・医療・福祉の知識を身につけることができる。
3. 看護上の課題を多面的に探究し、課題を解決することができる。
4. 科学的根拠に基づき、看護を実践できる。
5. コミュニケーション技術を身につけることができる。
6. 地域包括ケアシステムにおける多職種との連携・協働を図り、看護の役割と責務を果たすことができる。
7. 豊かな感性と倫理観を養い、対象の多様性を重んじ、人権を尊重することができる。
8. 地域・国際社会に関心をもち、貢献することができる。
9. 生涯にわたり、看護専門職として主体的に学習することができる。